

- リノベーションミュージアム冷泉荘 耐震補強プロジェクト
- 耐震工事後の姿 - 新レイアウト
- リニューアルオープンイベント 開催告知
- 交通アクセス

月刊冷泉荘

2011年2月号

耐震補強工事特別号

冷泉荘リニューアルオープンイベント

リノベーションミュージアム冷泉荘耐震補強プロジェクトとして、1月24日(月)～3月7日(月)まで、冷泉荘1階を耐震補強工事しております。築52年をむかえた冷泉荘ですが、80歳を目指して大規模な耐震補強を経てさらに進化していきます！それを記念し、3月12日(土)、13日(日)にはリニューアルオープン・イベント開催を計画。屈強な姿として再度生まれ変わる冷泉荘を楽しみにしててください！12日にはリノベーションや耐震補強・レトロビルに関するフォーラム、13日には東京より岡田斗司夫さんをお招きしてトークイベントを開催！

耐震補強完成
記念イベント開催

テープカットや記念もちつきなどの他に、以下のよう講演・フォーラムを開催予定です。おたのしみにも！

- ・冷泉荘2年の歩み
- ・耐震補強の今
- ・福岡STYLE
- ・ビルストック活用の考え方
- ・「THE SHARE」
- ・これからのワークスタイル

岡田斗司夫の「福岡ひとり夜話」日本の将来を大胆予測

岡田斗司夫



参加費1,500円
(要予約、冷泉荘事務局まで)

3月12(土) 13日(日)19時から

どちらも2コ1多目的スペースにて

ビルストック文化の学び合い、そして発信

冷泉荘は、博多区上川端町で築52年を迎える昭和のレトロビルです。「福岡の古い建物を大切に活かす(ビルストック活用)」を基本理念に、「ひと」「まち」「文化」を大切に思う人たちが集まる「リノベーションミュージアム冷泉荘」として2009年4月再スタートしました。

リノベーションミュージアム冷泉荘のこともっと知りたいなら・・・ホームページへ！

<http://www.reizensou.com/>

入居メンバーやイベントなど、冷泉荘の日々の出来事を更新中！

twitterもやってます！
アカウントは「reizensou」

冷泉荘 交通アクセス

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から川端商店街をキャナルシティ方向へ。博多らーめんを左折し、消防分署を左折。駐車場はございません。

次号は3月初旬発行

お問い合わせ先
〒812-0026
福岡市博多区上川端町 9-35
リノベーションミュージアム冷泉荘
A12号 冷泉荘事務局
(11:00～19:00、火曜定休)
電話/FAX 092-985-4562
mail:yj@tenjinpark.com

月刊冷泉荘

RENOVATION MUSEUM REIZENSOU

Re-Produced by 吉原住宅・スペースRデザイン



「文化」が集う背景は、やはり建物の力です。築52年という歳月がつくる、温かみ・懐かしさ・心地よさ。この雰囲気こそが、まちに根づく「文化」を育てているのです。しかし、日本ではスクラップ&ビルドの流れで、40年も経てば建物は壊されます。例えば、福岡の赤煉瓦文化館などの文化財級の建物は多くの方が興味を持ちますが、私たちは冷泉荘のようなストック活用のテーマとしてとらえるべきではないかと考えています。

「文化」が集う背景は、やはり建物の力です。築52年という歳月がつくる、温かみ・懐かしさ・心地よさ。この雰囲気こそが、まちに根づく「文化」を育てているのです。しかし、日本ではスクラップ&ビルドの流れで、40年も経てば建物は壊されます。例えば、福岡の赤煉瓦文化館などの文化財級の建物は多くの方が興味を持ちますが、私たちは冷泉荘のようなストック活用のテーマとしてとらえるべきではないかと考えています。

か つて老朽アパートだった冷泉荘は、二〇〇六年より3年間、若手クリエイターのチャレンジの場として提供してきました。これよりさらには活気が生まれましたが、一方で、なぜか冷泉荘という建物がかちから浮いた存在になる不安を覚えました。

そこで、この実験的試みが3年目で終了したことを機に私どもの理想を実現するため自らの手で新プロジェクト「リノベーションミュージアム冷泉荘」を立ち上げ、二〇〇九年、冷泉荘は新しく生まれ変わりました。ビル一棟の歴史を劇場に例えるなら、ビル再生の第2幕目です。ここでは、古いものや古いことを大切にされる大人の文化人・芸術家などクリエイティブ・クラスの方々に新たにご入居頂くことで、高品質な活動が発信される建物へと変化しました。それにより、ほどこなく「まちの文化施設」「知のサロン」として新聞やテレビで紹介され、古い建物が好きな方々はもちろんですが、まちづくり団体や行政の方など大勢の方々が遠方から視察に訪れる物件になりました。

リノベーションミュージアム冷泉荘耐震補強プロジェクト

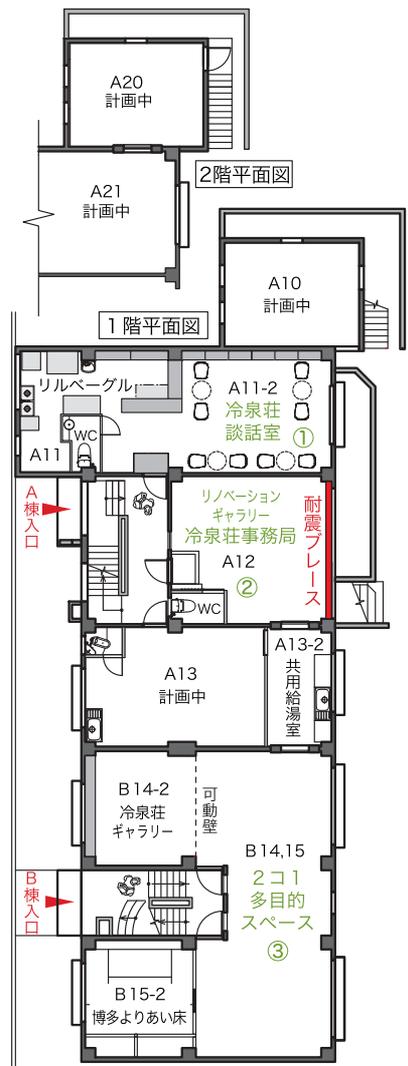
吉原住宅(有) 代表取締役 / (株)スペースRデザイン 代表取締役 / NPO法人福岡ビルストック研究会 理事長 / 福岡路地市民研究会 事務局長

吉原 勝己

なぜなら、まちを直感的に大切に思える感覚は、ふるさとと思える「ふるさと感」ではないでしょうか。子供のころから見てきた「まちの風景」が視覚的に重要な要素となっているはず。まちが変わりすぎた私たちの世代は無理としても、建物を維持すること、今の子供たちにはふるさとと感覚を持って、もらえるまちになると良いなあと思っています。また、市民の生活から培われる長年の文化やコミュニティは、特別なものではないうるまじい存在です。したがって、建物の維持は市民レベルで「人やまちや文化」を残し、育てていくこともつながると考えています。このことは、築100年を超える建物が多く残るヨーロッパのまちなみが示しているのではないのでしょうか。

冷泉荘は、このような思いを抱かせるパワーを持っています。冷泉荘という意思を保持した建物と、「文化」を発信されるご入居の方々の力に突き動かされるように、劇場の第3幕としてこのたび社運をかけた耐震補強工事を行うこととなりました。このクラスの民間鉄筋コンクリート物件を大規模に耐震補強工事を行った例はあまりないようです。工事の成功、そして冷泉荘のさらなる進化が、今後の福岡のストックビル活用のモデルとして、B級物件がビンテージビルになる事例として、市民の建物に対する考え方を変えていくきっかけになればと思います。そして、古い建物だから大切を、「ひと・まち・文化」に年輪を重ね続ける冷泉荘から発信していけることを願っています。

なぜなら、まちを直感的に大切に思える感覚は、ふるさとと思える「ふるさと感」ではないでしょうか。子供のころから見てきた「まちの風景」が視覚的に重要な要素となっているはず。まちが変わりすぎた私たちの世代は無理としても、建物を維持すること、今の子供たちにはふるさとと感覚を持って、もらえるまちになると良いなあと思っています。また、市民の生活から培われる長年の文化やコミュニティは、特別なものではないうるまじい存在です。したがって、建物の維持は市民レベルで「人やまちや文化」を残し、育てていくこともつながると考えています。このことは、築100年を超える建物が多く残るヨーロッパのまちなみが示しているのではないのでしょうか。



① 冷泉荘談話室

おいしいベーグルが食べられるリル・ベーグルの座席スペースは、無料のコミュニティスペース「冷泉荘談話室」となります。本を読んだり、談笑したり、カフェとしてベーグルやコーヒーを楽しんだり。お気軽に立ち寄って、手作りのリノベーション空間を楽しんでみてください。

② 2コ1多目的スペース

入居者さんからの要望もあり、好評のレンタルスペースが大きくなります！これまで30人程度のイベントが限度でしたが、60人程度のセミナーやイベントが可能なスペースとなります。1階という絶好の立地、コの字型の特殊で面白い空間。2つの部屋が1つの部屋となった興味深いスペースを、あなたはどう利用しますか？

③ リノベーションギャラリー (冷泉荘事務局)

建築的な手法であるリノベーションやビル再生の現状、冷泉荘のこれまでの活動や展開、私たちが育てる『未来のビンテージビルの仲間たち』などの情報を得ることのできるリノベーションギャラリー。管理人のいる部屋としてだけでなく冷泉荘の案内口として、さまざまな情報を発信していきます。

*各部屋の名称は変更となる場合があります。